	HSK どぼけいと March 3月号 NO.172 2015.3.10号	1973年1月13日第三種郵便認可 HSK通巻番号516号 発行/2015年3月10日(毎月10日発行) 編集者/我妻 武 住所/〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F 特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323 H P http://npolife.net/ 発行/北海道障害者団体定期刊行物協会 定 価/100円

再びライフのスタッフへ問う

私たちが共働・共生にむけて取り組むために

理事長 我妻 武

ライフは、共に働くことから出発し、限られた数ではあるが生活の場として住居を確保することも行ってきた。共に働くことは、共に生きることである。困難を抱えている仲間がいれば、その困難を解消することで共に生きることができる。

しかし、「共働」の言葉だけが先行し過ぎてやしないだろうか。

私たちは改めて何が対等なのか考えなければいけない。一方で、障害者だから甘えるなという言葉はあまりにも乱暴すぎる。私たちは、共働・共生について、もう少し丁寧な議論が必要ではないだろうか。綺麗ごとでは済まないことも事実だ。それも含めて生きるということである。そうしたことを重ねながら引き続きライフの仕事に取り組まなければならないのではないだろうか。

確かに日々の仕事は大変である。しかし、私たちの事業所は障害のあるメンバーと一緒に働く事業所である。単なるルーチンワーク（決められた仕事）では済まない。人間が生きて仕事をしてる、日々の状況も違う、そこを障害ゆえに抱える困難をサポートしながら共に働くところである。ここを忘れると、みんなの事業所ではなく、それぞれの事業所になってしまう。

障害者だから、と十波ひと絡げにしてやしないだろうか。

指導という名の言葉の虐待や仕事を覚えなからと無理やり仕事をさせていないだろうか。ごくごく基本的なことだ。自分がその側にいたら、どうなのだろうという想像力を働かせて欲しい。

「指導してやっている」、なんと傲慢な言葉だろう。そうした態度に何も言えずに従ってきた人たちがいたことを忘れてはならない。私はライフの特定のスタッフを叱責しているわけではない。忘れてならないのは、こうした内なる差別と常に戦うことをしていかないと、なかなか壁を越えることはできない。こうした壁を越えて、「共働共生」を考えようという提案である。おりから今年に共同連札幌大会が行われる。それを契機にして、私たちも考えて行動するきっかけにしていきたい。

最後に忘れてはならないこととして、多くの障害を持っているメンバーが、ライフに通って仕事を続けている意味も改めて考えなければいけない。そして、そのメンバーが引き続き仕事や暮らしが成り立つように一緒に考えて行動していきたいと思っている。

～札幌市営地下鉄のエレベーター工事について～

理事長 我妻 武



■突然の地下鉄エレベーター工事

昨年11月に突然、札幌市営地下鉄エレベーター工事が行われることが地下鉄駅などに張り出された。あまりにも突然なことに驚いたことと、エレベーターに代わる代替手段がなにも用意されていないことにDPI北海道ブロック会議が要望書を提出しました。

このことは北海道新聞(2月8日付け)にも大きく報じられたのでご存知の方も多いと思います。

現在の工事中については、下記の表にもあるが、札幌市のホームページにも掲載されている。

<http://www.city.sapporo.jp/st/subway/evkozi261201.html>

■要望書の提出と回答

ライフもDPI北海道ブロック会議に加盟していることと、ライフでは通勤で地下鉄を使っている人も多いことから、要望書と回答について紹介します。なお、具体的な要望と回答については、DPI北海道ブロック会議のホームページからご覧下さい。

今後のエレベーター・エスカレーター工事の予定も掲載しています。

<http://www.dpi-japan.org/hokkaido/katsudou/150123/kaitou.pdf>

要望の要点としては、事前に工事をするエレベーターの情報を開示して欲しい。工事をするエレベーターに代わる階段昇降機や最寄り駅までのタクシー輸送を検討して欲しいという基本的なことと、こうした議論を進めるにあたっては障害当事者団体はもとより、高齢者や子供に関する団体も加えての場を設定して欲しいというものに要望しています。

回答としましては、エレベーターを工事している駅では、駅員の人数が限られているので電動車イスであれば、一旦手動車イスに乗り換えて、駅員が担ぐというもの。階段昇降機も所有していない。そのために事前の連絡をして欲しいという。最寄り駅までの交通手段の確保については費用面から難しいとの回答がありました。

関係する団体との事前協議についても、検討するという事で回答がありました。

■利用者の視点に欠けている

こうした工事で残念なのは、利用者の視点と想像力がかけていることにあると思います。それは利用者が少ないから単純に冬期間、しかも年末から年度末にかけて行うという工事日程の決め方もおかしいのではないのでしょうか。

冬期間は外に出ないで移動できる地下鉄は便利であるし、当然ながら車イス利用者にとっては便利この上ない。しかし、車イス故に工事だから隣の駅まで簡単に移動できません。冬は雪があります。それは高齢者やベビーカーを押している方々も同じです。こうした利用者のイメージが全くないのではないかと思われるぐらいです。

せめて、工事をする日程や計画が分かるのであれば、それを事前に開示して頂ければ心の準備くらいは出来ます。もっとも心の準備は出来ても、それだけでは通勤できませんけれども。

今回の件を通じて、まだまだ市役所の福祉以外の担当者は障害者のことを存じないのだと思った次第です。

	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)
エレベーター工事	二十四軒駅	琴似駅 大通駅 白石駅 新さっぽろ駅 二十四軒駅	栄町駅 豊水すすきの駅 北13条東駅 大谷地駅 自衛隊前駅
エスカレーター工事			白石駅 円山公園駅



交通費助成制度の変更について

平成27年4月1日からウイズユーカードが利用出来なくなり、交通費助成カードに変わります。交付開始日3月6日(金)からの数日間は窓口が非常に混み合い、3月中旬から月曜日以外の午後3時以降が比較的すいていると予想されます。

手続きに必要な持ち物は手帳と印鑑です。3月中に手続する場合は、以前に交付したカードは回収しませんので、27年度の2回目の交付時に併わせて持って行ってください。

今回の交通費助成制度では、ウイズユーカードに変わり、「交通費助成カード」が発行され、SAPICAと同じ10%のプレミアムが付与されます。ただし、10,000円(15%のプレミアム)のウイズユーカードがなくなることから、精神障害の手帳をお持ちの方の場合、これまでと比べて総利用可能額が2,000円減ることになります。

*3月中はトラブルの原因となりますので、絶対に使用しないでください。

*身体障害1級・2級、知的障害A、精神障害1級・2級の手帳をお持ちの方は変更ありません。

*本人以外の方が申請する場合は、手帳と代理人の印鑑・名前が確認できるものを持参して下さい。



不定期通信 みんなでぶっちゃけトーク(外伝) Vol. 04



病院滞在記

きばりや 石川 和寛

どうもどうも石川でございます。大変なことをやらかしてしまいました。

1月28日元気に界川のポスティングに出かけました。しかし路面はところどころ凍って^{さかいかわ}除雪作業中でもあり、配るのも大変でした。轍^{わだち}に足を取られてしまい転倒。転倒はいつものことなんですが、立ち上がろうとした瞬間「パキッ」との音が…。最初は自分の左足に何が起こったのか解りませんでした。前を向いた瞬間、今までに感じたことのない物凄い痛みが…その時確信しました。「俺の足は折れてしまったんだ。」と。

足が折れると、こんなに痛いんだとはじめて思いました。だけど、不幸中の幸いなことに、倒れた場所の3~4メートル先に上神田さんがいてくれたからよかったです。急いで駆けつけてくれて救急車の手配を、俺とペアだった星も戻ってくる途中だったのでダブルでよかった。これがもし上神田さんと合流するのがまだまだ時間がかかる、星を反対側に行かせたとなれば、一人ではどうすることもできなかつたろう。携帯を取り出すことも、しゃべることさえも。救急隊員に自分の名前を言うだけで精一杯でした。

受け入れる病院は見つからず、見つかったのが中央区にある斗南病院。すぐにレントゲンを撮って診てみたら、太い骨の頸骨^{けいこつ}が真っ二つに折れて

いるうえに少しずれていて、手術することになりました。

手術は約2時間かかりました。当たり前ですが手術後は何もできず体を拭いてもらったり、着替えさせてもらったりと、いろいろしてもらいました。病院に長くいたら日にちだったり、曜日の感覚が解らなくなるものですね?

レントゲンを撮ってもらった日に骨密度も調べました。そしたら、骨粗しょう症と診断されました。どういう数値で表されたかというところ、6、7割。若い人の60、70%という結果です。皆さんも骨密度検査を受けてみてはどうでしょう?

職場復帰はまだになりますが、歩ける状態に戻りたいと思っています。

最後になるけど、見舞いに来てくれたキバリヤ一同をはじめ、中井さん、木原、中橋、宏基、村ぼん、ユウキありがとう。(お礼を言えない方なのですが…)

病院ドラマで手術場面を観たら「イシカズも手術したんだなあ」って思ってた。チョーダイ。



こんな状況でも愛想を振りまくイシカズ

札幌市リユースプラザ

〒004-0003 札幌市厚別区厚別東 3 条 1 丁目 1-10
TEL 011-375-1133 FAX 011-375-1155

札幌市リサイクルプラザ 発寒工房

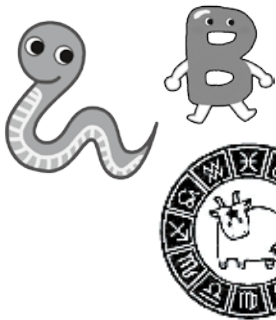
〒063-0835 札幌市西区発寒 15 条 14 丁目 2-30
TEL 011-662-7815 FAX 011-662-7816



<http://www.reuseplaza.jp/>

発寒工房のにゅーぶえいす!!

佐藤 正彰



1月20日に就職し発寒工房に入った佐藤正彰です。蛇年・おうし座・B型で感情豊かな性格だと思います。お酒を飲むと陽気になります。みなさんどうぞよろしくお願ひします。



小原 浩之



はじめまして発寒工房の小原です。「天体のメソッド」や「しあわせのパン」の舞台になった洞爺湖町の出身です。休日は自動車やプラモデルをいじっていることが多いですね。

いくつかの仕事を経験しましたが、トラックや救急車などを作る仕事が一番長かったですね。変わったところではルスツ高原のジェットコースターも作りました(乗った人もいるかもしれませんね)。

全く経験のない分野の仕事ですが、ライフのなんでも屋さんとして皆さんと楽しく仕事をしていきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。

★リユース冬祭りに参加して★



のこぎり楽器に初挑戦!

発寒工房 関 隆広

あさのじかんは、ゴミぶんべつをしておりました。ゴミを分別をしているとじょじょにすてにきてくれてよいと思ひました。そして中をみていって来てほんとうによかったです。

お昼すぎは少しいどうして、岡林さんとオセロできて楽しかったです。でも久々にやって負けてざんねんでした。さいしょは自分がリードをしていたのがあとから逆転されてざんねんでした。

そして鼻笛を聞いたことと、のこぎり楽器で音を少しだせたこと、ゆっぼろをあたらしく見れてほんとうによかったと思ひます。



ゆっぼろ

発寒工房 齋藤 悦久

朝5時に起きて8時にはリユースに到着してました。今回は寒かった。

担当したのはリユースの新キャラ「ゆっぼろ」を誘導する係。ゆっぼろに入ったのは発寒工房の新スタッフという、どちらも新しい組み合わせでしたね。誘導は思ったよりも大変。ちつきゅんに入ったこともあるので、視界が悪いのも知っていましたので声をかけたりしながら誘導していました。ここで、お客さんに「ゆっぼろと写真撮っていきませんか?」って言うてみたりすると、これがOK!無事ゆっぼろを撮ってリユースをまわってくれました。 凧上げづくりもサポート。完成したらさっそく飛ばしたりして楽しそうでした。特に子供は吸収が早い。鼻笛をやらせたら1番最初に鳴らして凧上げやらせたら綺麗に飛ばせて、来ている子供たちにも注目のイベントでした。

リユースイベント《リユースプラザ 冬まつり》 ♡



館長 松永 クニ子

2月21日(土)午前10時は、快晴で気温も高く最高のイベント日和。平成26年度の最後のイベント冬まつりが無事終了しました。

来館者数は258人と昨年の同イベントから100人減～(涙)。良いお天気が災いしたのかな？

そして、2月号で予告の「雪だるま200体」は雪不足と暖気で作成不可能でした。しかし～来館者のほとんどが、開館と同時に入館して、すべての行事を堪能してくれた充実のイベントでした。

凧作り、鼻笛づくり、雪中カルタ大会、岡林名人とのオセロ対決。遠く東区、北区から、ネット検索で来館した家族も居ました。

13時頃に、STVラジオのランラン号の取材中継があり互久楽さんが出演し、スタジオの日高吾郎さんと会話が弾んでいました。

今回、初登場の着ぐるみ「ゆっぼろ」には発寒工房の新人、佐藤正彰さんが活躍！ 午前と午後の2回登場しました。午前の部では、2歳くらいの子が大泣き…、でも大丈夫です「可愛い！」声とともに撮影ラッシュ♪ 時々、

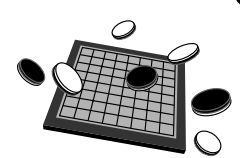
ふなっしーのように体が伸びる時もあり大笑い。

ところでオセロ対決初参加の小学生の兄弟が、車イスの岡林さんにちょっとドキドキのようすでした。でも対戦が進むと、その強さに感動。今回は対戦相手が少なかったので「詰将棋」ならぬ「詰オセロ」を体験。ヘルパー栗田さんを介して、たくさんのアドバイスをもらいオセロラブに～岡林名人のオセロ人口増加使命達成です。

また、雪中カルタ大会も幼稚園児から小学校高学年、メンバーさん総勢10名の対決に“大人数でのカルタ取りの経験がない”そんな子どもが多いせいか、争って札を取ることが出来ないのです。今回は1回目を予選、2回日本戦にしました。2回目には全員が威勢よく札をゲットし笑い声が響きました。

障害者、老若男女問わず様々な人が集うことで成長する子どもたちの姿を見て感動しました。そしてリユースプラザイベントがそんな集いの場になれると実感しました。

リユースプラザイベントは、ライフの仲間の協力で終始支えられています。トン汁の準備や販売にお手伝い下さった方々。イベントを楽しみに来館してくれるメンバーのみなさん。本当にありがとうございます。平成27年度のイベントもまた、ご協力よろしくお願い致します。



アウトソーシングセンター
元気ジョブ

札幌市中央区南 8 条西 2 丁目 5-74
市民活動プラザ星園 103
TEL 011-596-6581
FAX 011-596-6582
E-mail: genki@hatarakutei.jp



多くの事業所のおかげで

所長 織本 義昭

はじめに

2月、春の到来を思わせるような日々が続きました。

それに比べ昨年末の総選挙に勝った安倍政権の、「周辺事態」という地理的概念を取っ払い自衛隊の海外での後方支援活動をさらに拡げるような動きには何か背筋がゾッと寒くなるような思いがつのります。

戦後70年をむかえる今年は、大きな転換点をむかえていると言えるのかもしれませんが。それぞれの立場で戦後70年とは何であり、今後どのように国内はもとより世界の人々と向きあうのか考えていかなければならないのではないのでしょうか。

2月に約10日間で7万部のポスティングの依頼を受けました。

もちろん元気ジョブとしてはすぐにできますと依頼し合えることはできません。あわてて個別に事業所に相談しながら結果的には11箇所の事業所の参加をえてどうにか完了することができましたが、その内実はヒヤヒヤものでした。

- ① できるだけポスティング対象地域の近くの事業所への地域割り
- ② 短い日程のなかで事業所への配布可能部数を聞きながら部数を配分することを心がけて作業してもらいましたが、途中で事業所間の部数調整したり、ある事業所は休日を返上して作業したと聞きました。無理をかけたようで寒い中配布してもらい本当に感謝しています。

今回の作業をつうじて

- ① 天気に恵まれたこともあり比較的順調にポスティングが進んだが、本来は予備日も設定して無理のない作業スケジュールを事業所と組めるようにすること
- ② 今回は急な依頼のためしよがなかつたこともあるが、元気ジョブが個別に事業所に依頼するばかりでなく、その作業を行う事業所に一同に集ってもらい、地域割りなどを打合せしながら事業所間で作業工程を管理し調整して

進めること。

- ③ そのなかでゆくゆくはポスティング作業を行うグループを形成してもらうことの必要性をあらためて感じています。



今回のことで、私にとってはまた新しい事業所とのつきあいが生まれました。

元気ジョブをやった良かったと思うことは、以前にもまして人が好きになれたことです。

出たとこ勝負というか、大雑把で計画性に欠け、気分で仕事をする私が、まがりなりにもやってこれたのも作業を引き受けてもらい、助けてもらった事業所のおかげだと思っています。

先日、Eテレのある番組で高齢者のデイセンターのある試みが紹介されていました。何とそこのデイセンターでは近所の会社・お店から簡単な作業を引き受けており、その作業をしている高齢者の生き生きとしていること。

生きていく限り自分だけの楽しみばかりではなく、何らかの形で社会と繋がることの素晴らしさを感じました。

障害者はもとより、ライフのめざす社会的事業所づくりの一助になるよう歩みを進めますのでよろしく。



ヘルパー派遣業務・在宅介護支援 ヘルパーステーション **ゆい結**

札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒1F TEL 011-623-2505 FAX 011-644-0088

介護報酬が下がります

この4月から介護報酬が下がるのが決まっています。介護保険では最終的に全体でマイナス2.27%の削減をするという数値が設定され、今回平成27年2月6日、各サービスごとに具体的な報酬単価が発表されました。

今回の報酬改定で、処遇改善などを含め取るべき加算を算定して、訪問介護事業所にとって訪問介護も大幅に報酬が削減されているかという点、必ずしもそうとは限らないようです。

今回、介護職員処遇改善加算に上乘せがあり、訪問介護の場合、処遇改善加算改定前が最大4%から報酬改定では8.6%の処遇改善加算を受けることができ、これが加算として介護報酬に付け加えると、加算を含めた介護報酬自体は改定前と大きく変わらないと言われています。

地域加算なども変更されているので、条件が異なる場合もあるみたいで、処遇改善加算をしっかりと算定できているのであれば大幅な収入減ということは避けられるそうです。

介護予防訪問介護でいくと

利用回数	改定前	改定後
週1回	1226単位	1168単位
週2回	2452単位	2335単位
週3回	3889単位	3704単位

自治体によっては日常生活自立支援総合事業に移行を進めているところもあるみたいです。

介護予防訪問介護の単位数は改定前よりも削減されており、今後の総合事業への移行も見越して、介護報酬を削減している部分もあるみたいです。

身体介護が中心である場合

所要時間	改定前	改定後
20分未満	171単位	165単位
20分以上30分未満	255単位	245単位
30分以上1時間未満	404単位	388単位

身体介護サービスの算定要件が変更になり、かなり限られた条件下でないと算定できないことになったみたいです。短時間サービスについて、あくまでも24時間定期巡回随時対応サービスの移行を前提だそうです。同サービス事業所以外では20分未満のサービスを算定することはない？

1時間のサービスが、404単位から388単位に16単位もダウンします。

また、通院時乗降介助も改定前の101単位から97単位に4単位分の報酬削減となっています。

生活援助が中心である場合

所要時間	改定前	改定後
20分以上45分未満	191単位	183単位
45分以上	236単位	225単位

生活援助も同様に報酬単価自体は削減されています。

45分未満で8単位のマイナス、45分以上で11単位のマイナス。単価の小さい生活援助サービスなのにさらに削減されています。

その代わりに処遇改善のパーセントが上がります。

就労継続支援事業A型
共働事業所

・印刷物版下制作・製本
・紙焼き写真のデジタル化
・農業・喫茶・ポスティング
・DM発送・その他の軽作業

きばりや



春はもうすぐ...

雪も少しずつ溶けて暖かい日が多くなり、カフェの窓から見える景色が変わってきました。

ライフに入社して一年。楽しいこともたくさんありますが、戸惑うことや悩むことも多い一年で、目の前の仕事をこなすことでいっぱいだった気がします。今年は、自分自身にもう少し余裕を持って、毎日の仕事はもちろん新しい事に挑戦していきたいと思っています。

まず、カフェメニューの編成です。



共働事業所 きばりや

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F
TEL:(011)644-5533 FAX:(011)613-9323

Cafe de キバリヤ

〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ3F
TEL/FAX : (011)758-6533

カフェ・ド・キバリヤ 柳生 由樹

キバリヤの野菜を使って、季節を『食』で感じてもらえるように、時期で採れる野菜を使った限定プレートをみんなで意見を出し合って完成させたいと思っています。

心をこめて作っている野菜を、カフェでも心をこめて・・・美味しい料理に大変身!できるように色々な事を積極的に学び、挑戦していく一年にしていきたいです。



札幌市リユースプラザ

濱中 孝仁

冬まつりでメンバたち柳亭互久楽、CDふえにリズムで。

2人でソフトリクが。とん汁、コロケ、雪中アイスクリーム作り、まめごはんたべました。

いろいろたくさん、あたたかいコーヒーをイベントにいっぱいフェアトレード第三世界ショップに神でうまさいふが赤、アカデミックセールありました。



上神田さんが買った馬柄の赤い財布

リユース祭りに参加して

織本 亜哉子

朝9時に坂本さんと濱ちゃんと待ち合わせをして、高速に乗り9時40分にリユースプラザに着きました。

お祭りが始まるまでリユースプラザの方と話をし、10時に祭りが始まりました。

午前中はビニールでの凧作りや、紙で作る鼻笛を楽しむ子供、雪中でアイスクリーム作りをしにきた子供たちで豚汁、コロケが売れました。私はジュースを売る担当でした。冬祭りだから冷たい飲み物を買に来る人は少して、時々、第三世界ショップの店番もしました。

最後は鼻笛やノコギリで弾く音楽を聞いて終わりました。



鼻笛

~cafe de キバリヤより~

『日替わりポタージュ』



カップ 180円

ボウル 260円

3月というのにまだまだ寒さが身にしみます。

カフェでは日替わりスープの他に、

日替わりポタージュを作ってみました。今時期は、ジャガイモやお豆などのきばりやからの野菜を使って作っています。

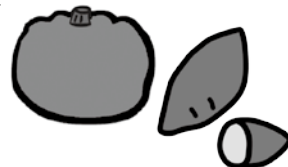
カフェのポタージュでほっこり温まりませんか?

👁️ おやつ大好き~

小西 学

3月になっても店で温かく過ごしています。南瓜やさつまいもはおやつに一番良く合います。

私は南瓜とさつまいもが好きで、おやつに合うと喜んでいきます。



共働事業所 もじや

〒064-0808
札幌市中央区南 8 条西 2 丁目 5-74 市民活動プラザ 星園 104
TEL (011)596-6583 FAX(011)596-6584
E-mail:mojiya@npolife.net

- 印刷・編集・制作・出版・企画
- テープ起こし
- 名刺、小冊子の版下作成
- ホームページの作成管理

『 1 年経って思う事 』

伊東 伸一

私かもじやに来てから約1年が経ちました。たて続けに2度もインフルエンザにかかったり、迷惑もたくさん掛けましたが、皆さんに助けられ今日もここにいられる事に感謝です。

1年間もじやにいて解ったことは、もじやの所長、福田さんの凄さです。日々大変なお客様に振り回されながら、休日、早朝、関係なく仕事をこなし、仕事以外に起こる難題にも対処し、障害のある無し関係なく、一緒に働く仲間として、お酒を飲み、遊び、メールでやりとりをし…。そんな大人な福田さんですが、実は心に少女の繊細さと少年の奔放さを持っている、そんな愛すべき人なのです。できればあと10年は、もじやの所長として頑張っていたらいいと思います。

私が携わり、去年から少しずつ進めて来た、ライフのホームページのリニューアルが、やっとかたちになってきました。障害のある方にも使いやすいように配慮しながら、デザインも考えました。新しいホームページが完成したあかつきには、みなさんに有効活用していただければいいなと思います。

『 インフルエンザで仕事にも影響を及ぼす 』

鈴木 麻依

私は今年の1月に2回目のインフルエンザにかかってしまいました。1週間ぐらい仕事を休むことになってしまいました。

でも今回のインフルエンザは1回目の時とは違い、微熱が続いた事以外は至って普通でした。体の方も全然だるくなかったので、いつもの風邪だと思いつつ次の日になれば仕事に復帰して、まだ残っているテープ起こしの仕事の続きを全て終わらせてしまうつもりでいました。

所が念のため病院に行ってみると先生にインフルエンザだと言われ1週間絶対安静と言われてしま



いました。まだテープ起こしの仕事も残っていたにも関わらず結局インフルエンザで1週間ぐらい仕事を休むことになってしまいました。

そして1週間後インフルエンザも完治して仕事にも復帰し、これでようやく安心してテープ起こしの仕事の続きが出来る

と内心ホッとしていましたが、私が仕事に復帰した頃にはテープ起こしの仕事はすべて終わっていました。結局テープ起こしの仕事もあまり出来ず本当に申し訳ありませんでした。

『 印刷をやって 』

中橋 敬人

僕は、もじやにきて2年半になって印刷をやり始めたのは、半年になります。

最初は名刺の機械から初めて、どこで縦横・上と下の機械の押す所は全然分かりませんでした。星さんに教えてもらっても最初は逆に合わせて苦戦しました。同じことを何回もやって少しずつ合わせ方を覚えていってます。

まだちょっと落ち着かない所があります。ケガしないで落ち着いて印刷をやっていきます。



笑って稼いで生きていこう!!



♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

♪ NPO法人 札幌障害者活動支援センターライフ ・出張販売

♪ **共働サービス たねや** ・チラシ折り

♪ 〒063-0804 札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 ・封筒詰め作業

♪ テラ二十四軒1階 ・箱折り・シール貼り

♪ TEL 011-613-0611 FAX 011-644-0088 ・清掃委託業務

♪ taneya@npolife.net ・その他委託業務

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪



『初心を忘れずに』
 所長 村上 千春

今年度も残りわずかとなりました。この一年、たねやでは新しい仲間がたくさん加わり、今まで以上ににぎやかに過ごしてきました。

販売業はもちろん、軽作業やイオン業務も皆で協力しながら“乗り越えてきた”と思います。これまでの積み重ねと、新しいアイデアをうまく組み合わせることで、よりよい道が拓けてきたのではないのでしょうか。

ひとりひとりの力を大切に。今この瞬間を大切に。その思いがたねやを育てていくということを忘れずに、やっていきたいと思ひます。

「Facebookでも商品など随時更新中!!」

共働サービスたねやのfacebookでも商品など随時更新していますのでぜひご覧ください。
 「共働サービスたねや facebook」で検索していただくか、
URL(<https://www.facebook.com/taneya.life>)
 を直接入力してくださいね。

札幌駅前地下歩行空間
「カイマ子」にもぜひお越しください!

出店予定 4月2・3・12日
AM10:00~PM6:00

★ たねやイオン★ **新商品!!**
今月のオススメ

おいしい生たまごははじめました!

石狩の養鶏場ノーザンノーザンで作っている新鮮な生卵「イコロラン(宝卵)」
 “イコロ”とはアイヌ語で「宝」の意味で、主に良質な有機飼料を使用し、平飼いされた鶏から生まれる有精卵です。

配合飼料を一切使用していないので臭みが無く、黄身の味はほんのりと甘く濃厚です。白身、黄身とも弾力がありぷりぷり感が普通なたまごと全然違います!!

1/パック6個入り280円で販売しておりますので、ぜひお試しください!



たねやのじゅーぶえいす!!
 おおほり まさひろ
大堀 昌彦

はじめまして。
 たねやにはいりました。
 よろしくお願ひします。

「知識・技術吸収中」

合格おめでとう! **高橋 優希**

目標のヘルパー2級の資格を取ることができました。色々な方の支援や手助けがあつて取れたものだと思います。ありがとうございます。

今はきばりやとカフェの研修中です。お世話になります。色々な知識や技術を学べる事で楽しみです。



「イオンについて」

南 友康

イオンでは、ダンボールを広げて台車につむ仕事と、もえるゴミをきかいでつぶす仕事と、プラスチックのしわけはできています。

われものはさいしょうはできなかつたけど、できるようになりました。紙のしわけはおしえてもらっていますがちょっといまひとつです。

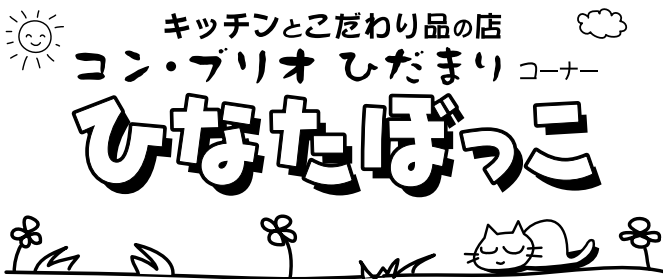
今はべんきょうちゅうです。今年もがんばつていこうとおもいます。

「フタジルくばりにいって」

小野寺 貴彦

日曜日フタジルくばりにいって、ちょっときんちょうしたけど、またこうゆうきかいあればやりたいと思う。





コン・ブリオ ひだまり
 札幌市西区琴似2条3丁目2-37 サンハイム1階
TEL 615-4131 FAX 615-4132
 E-mail : konburio@npolife.net
 営業時間：月～木10:30～17:30 金10:30～21:00 土10:30～14:00
 休業日：日曜、祝日、年末年始

3月のひだまり!

山澤 友紀

こんにちは。ひだまりです！ここ最近のひだまりは新しく販売するものが2つ増えました。

一つ目は釧路ラーメン。麺は極細でスープはあっさりしているのが特徴です。なぜ、麺が細いのか。それは、細麺だと早く湯出上がるので、釧路の漁師たちが直ぐに食べられるように始まったのがきっかけだったそうです。

2つ目は、有精卵のイコロランです。たねやでも販売していますが、ひだまりでも販売し始めました！イコロランの卵かけご飯（最近TKGと略さ



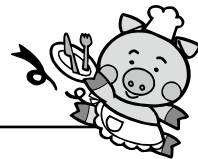
れますね)は格別です！

釧路ラーメンとイコロラン。まだ、食べたこと無い方は一度ご賞味くださいね！

あっという間に2月も終わって3月。北海道はまだまだ雪が多いですが、実は暦の上ではスプリング♪つまり春なんですよ。ひだまりのお食事にもそろそろ春野菜を使った副菜を出していこうかと考えています。お楽しみに！

☆キッチンレシピ！

居酒屋ひだまりにも登場！**豚巻きねぎのスティックフライ**



☆材 料☆

- ・ねぎ…………… 2本(約200g)
- ・豚バラ薄切り… 8枚(約100g)
- ・溶き卵…………… 1個分
- 卵ソース
- ・ゆで卵…………… 1個
- ・マヨネーズ…………… 大さじ2
- ・塩・こしょう…………… 各少々

- ① まな板に豚肉を1枚ずつ広げ、塩、こしょう各少々をふる。ねぎ1切れに豚肉2枚を巻く。豚肉を1枚ずつ、らせん状にねぎに巻きつけ、巻き終わりを下にして置く。残りも同様にし、小麦粉、溶き卵、パン粉の順にころもをつける。
- ② フライパンにサラダ油を高さ2cmくらいまで入れ、5～6分程揚げる。カリっとしたら油をきり、器に盛って卵ソースを添える。



余田 知広

新年会でダンスを踊ったこと。
新年会でジュースを飲んだこと。



さんと会いたくて会いたくてを歌いました。凄くキーの高い曲でしたが歌い切りました。

他の事業所ではアナと雪の女王のありのままややようかい体操がありました。僕も踊りました。

バイキングもおいしかったです。中華やカレーライスがありましたしデザートもフルーツやケーキ、アイスおいしかったです。

腹いっぱいになりました。楽しかったです。



松橋 勇祐

1月24日(土)に全日空ホテルで共々新年会に参加しました。新成人が3名いました。おめでとうございます。

ライブのパフォーマンスは自分一人で西野カナ



NPO法人札幌障害者活動支援センターライフ

こころや

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5
マンションMOM0102

TEL 011-614-1871 FAX 011-613-9323
kokoroya@npolife.net

お米精米・販売
チラシ折り
封筒詰め作業
箱折り
シール貼り
清掃委託業務



『雪解けの北海道』

田中 伸和

少しづつ暖かくなってきました。朝晩はまだ冷えるので日中解けた氷が又凍ってしまい、ところどころ道がツルツル路面になっています。いつも通る通勤路で、滑りそうなゾーンは頭に入っているはずなのに、今年も何度も転んでしまいました。

危険はいつも自分のまわりであり、油断してはいけないとあらためて思いました。

雪が解け、もうじき商店街清掃も再開されます。こころやの皆で気をつけながら頑張っていってきます。



「こころやの本当の定番アフターファイブ」

山本 守一

こころやでアフターファイブをして言いたい事を言えるような時間を作ろう! そしてみんながいつも思っている事とか、言いたい事を言えるような会にしていこう、と言ったので、毎週金曜日にひだまりで居酒屋をすることから、そこに集まってお酒を飲んだり、料理を食べながらこころやのアフターファイブをしたところ、何も言いたい事など出てこなくて、笑いが飛び出たりして、本当はこんなことをしたかったんだと思う人がいたみたいで、今度はいつしてくれるのと聞く人さえ現れるようになり、もう5回か6回しています。

みんなもアフターファイブのような気軽に喋れて、会話が愉快になって面白い会だと思います。この会をして何か違ったファイトがわいてきそうです。



「下水道バザーにて」

山口 敏明

2月21日に下水道科学館でバザー豚汁を配給に行ってきました。

今日は天気が良かったせいかお客様が200名以上きてくれて、ゲームにスベリ台などあって、豚汁の配給がよりよくおいしく楽しめたように感じました。

これからもバザーに参加したい、よろしくね。



廃油回収について

後藤冬風さんに再度インタビューをしてみました。

インタビュアー 田中 伸和

田中 「廃油回収が始まってから3ヶ月がたちましたが仕事には慣れましたか?慣れませんか?」

冬風 「慣れません。」

田中 「楽しいですか、楽しくないですか?」

冬風 「楽しい」

田中 「重い荷物を運ぶのは楽しいですか、つまらないですか?」

冬風 「楽しい」

田中 「重い荷物を運ぶのは辛いですか、辛くないですか?」

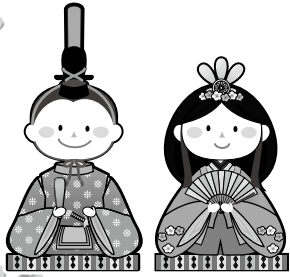
冬風 「辛い」

田中 「何か一言」

冬風 「ガラス割らない、ピン割らない」

田中 「はい、ありがとうございました。」





ライフで共に働く 障害者メンバー募集中♪

ライフでは、色々な職種の事業を展開しています。一度働いてみて自分に合わないな—と思ったら、ライフの中で別の職種を探すことも出来ます。お気軽に、自分にピッタリのお仕事探しをしませんか？

就労継続支援事業B型 たねや



たねやで一緒に販売をしてみませんか!?

たねやでは店舗販売・出張販売・清掃委託業務・軽作業を行っています。

店舗では「体に優しい」食品や、手づくり雑貨を厳選して販売。現在は販売に力を入れていることもあり、接客に興味がある人は特に大歓迎です。その他、清掃や軽作業に興味がある方も是非下記までご連絡ください。

一緒に自分に合った仕事を探しませんか!?



就労継続支援事業B型 ひだまり

コン・ブリオひだまりでは、店内でのお食事とテイクアウト弁当作りのほか、体に優しい商品を元気いっぱいの接客で販売しております。

また、市立札幌病院で床頭台清掃の委託業務も行っており、現在メンバー11人とスタッフ5名で働いています。

料理が出来なくても、経験がなくてもスタートは一緒です。皆が優しく教えてくれますよ!

ひだまりで一緒に働いてみませんか?

みなさんのご応募お待ちしております!!

問い合わせ:011-615-4131

担当 小野寺・小野

私たちと一緒に
楽しく働きませんか!!



※毎日元気に出勤できる方優遇
お問い合わせ:011-613-0611
担当 村上・奥井



就労継続支援事業B型 こころや



あなたのこころに!!
私のこころに!!
「こころや」です。



『こころや』では下請け作業やお米の卸し・販売の仕事を通じて、個性豊かな仲間たちが、時には面白く、時には真剣に仕事に取り組んでいます。

一緒に働いてみたいという方はもちろん、見学だけでも構いません。ご連絡お待ちしております。

問い合わせ:011-614-1871
担当 田中・小黒





NPO 法人 札幌障害者活動支援センターライフ

ゆめぴりか



平成26年度産低農薬米 ゆめぴりか の年間契約販売のご案内

年間60kg以上 (10kg単位) の注文から契約させていただきます。

■5%割引

年間契約をしていただくと値段より5%引かせていただきます。

通常5kg 2,500円、10kg 5,000円のところ
60kgの場合30,000円が28,500円になります。

■有効期限

2014年10月1日～2015年9月30日の1年間

■配送について

年間60kg以上契約のお客様は配送料無料。
範囲は琴似周辺応相談。

※ご希望の方はこころやへご連絡下さい。FAXまたは郵送で申込み書を送付させていただきます。



お好みに応じて精米いたします。(玄米・7分づき・白米)

分づき米とは?..... 玄米と白米の間のお米で、両方の良さを味わう方法が「分づき米」。玄米の栄養素と白米の美味しさの“いいとこ取り”の分づき米が、今大きな注目を集めています。



白米と比べるとビタミン・ミネラル・食物繊維を豊富に含んでいるため栄養面でも優れています。

※ ご要望に応じて玄米、分づき米(7分)、白米まで精米いたします。

精米したて!!..... ご注文をいただいてから精米し、お届けいたします。精米したての新鮮なお米をご賞味下さい。



本田農場生産の低農薬栽培は?..... 除草剤・イモチ防除剤、各1回のみ散布して栽培しています。



..... お買い求め・年間契約のお申し込みは

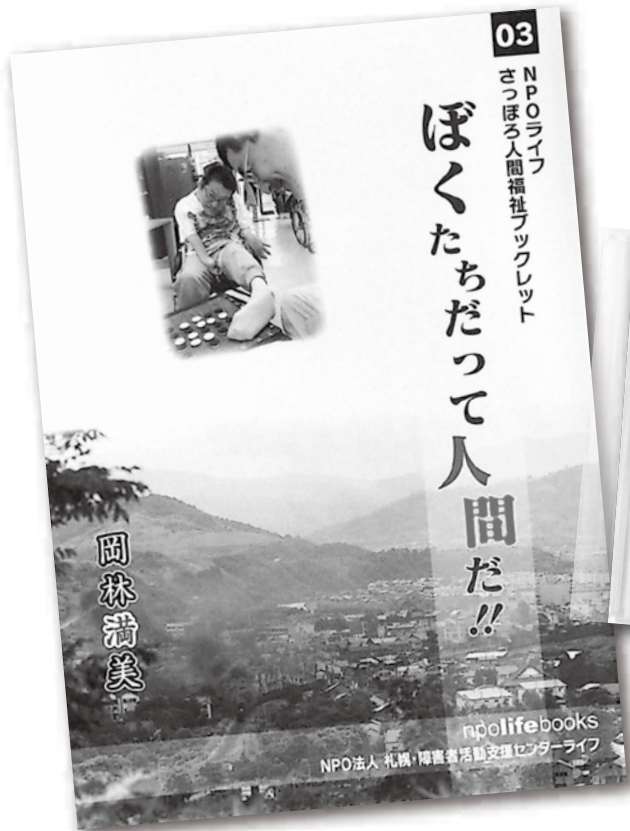


こころや

札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションMOM01F
TEL:011-614-1871 FAX:011-613-9323

ライフの事業所 ころや在籍の岡林満美(おかばやし みつよし)さん執筆 NPOライフブック 待望の 第3段

絶賛発売中



障害者として生まれた満美。
話すことも、自由に動かすことも出来ない手足で
自殺まで考えた彼が今、
『生きていて幸せだ。』と言えるのは…
岡林満美、渾身の一冊、ぼくたちだって人間だ!!



CD 岡林満美
僕たちの小さい命
同時発売!!

NPO ライフブックレット No.3
2012年8月31日発行
『ぼくたちだって人間だ!!』
定価 800円(送料別)
A5判 134ページ

2012年8月31日発売
『僕たちの小さい命』
定価 300円(送料別)
※同時購入 1,000円(送料別)



私たちは「福祉」という言葉を好まない。それは、「福祉施策」を必要とする人たちを見下したときに使われることが多いように感じられるから…

本来『「人間福祉」であるべき「福祉」が、今、「制度としての福祉」になりきがついている』という社会福祉法人この実会の加藤孝さんの言葉に触発され、『さつぼろ人間福祉ブックレット』を発行する。

NPO ライフブックレット No.2 2008年8月31日発行
『収容施設はもういらないうまで』
A5判 72p 定価 840円(送料別)

社会的排除からインクルージョンへ 経済の民主主義と公平な分配を求めて



危機の時代こそ
新しい考えを試す好機!
社会的事業所促進法を!

日本発
共生・共働の
社会的企業
定価 2,100円(送料別)
編者 NPO法人共同連
2012年9月10日発行
195×135 240p



震災復興は雇用の創出から いまこそ社会的事業所の出番です!

社会的困難を抱える人たちの「共働」をめざす、「社会的事業所」制度の法制化は急務であります。

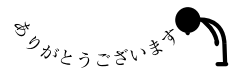
社会的事業所とは何か?

その理念と実践の取り組みが解りやすく語られています。

NPO ライフブックレット No.2 2011年6月30日発行
『誰もが働ける社会を』
A5判 140p 定価 1,000円(送料別)

●ブックレットのお申し込みは ——
NPO法人 札幌障害者活動支援センターライフ
札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションモモ 1F
TEL:011-633-6666 FAX:011-613-9323
mail:honbu@npolife.net HP:http://npolife.net/

🎉 **ご協力ありがとうございます** 🎉



- アドボケイト購読料** 佐々木 哲夫 様 二部 黎 様 西道 敏一 様
- 寄付金** (株)フクリ企画サービス 様 小菅 恵 様 織本 英子 様 石澤 利夫 様
- 賛同会費** 横路 由美子 様 **共働農園基金** 横路 由美子 様

私のオススメ

柏木 ハルコ 著 「健康で文化的な最低限度の生活」

理事長 我妻 武

しばらくぶりに私のオススメを担当です。と言っても難しい本ではなく、コミック本の紹介です。
 タイトルに惹かれてパラパラと見てみると、生活保護の新米ケースワーカーの話なんです。そうです。タイトルは日本国憲法第25条から付けられているものですが、内容は大学を卒業して公務員になった少しおっちょこちょいの義経えみるの物語。
 彼女が配属された先はなんと、生活保護担当。そこで出会う同僚や窓口に来る様々な相談者、受給者の人たちによる人間ドラマです。
 テーマは、非常に難しく、デリケートなものであるが、どうしてどうしてなかなかの力作です。何より分かりやすく生活保護の解説がされています。
 役所の人間（支給決定者）と生活保護の受給者となると、上下関係的なものがすぐに浮かびますが、主人公の義経は、同じ人間としてという視点に立ちな

がらも、何が最善の支援なのかと制度や自分の仕事の中で常に悩み続ける。しかし、義経は出会う人たちから色々なことを教えられ成長していくという内容。
 是非とも多くの方に見ていただきたいと思います。生活保護は国民の生活を守る制度であるということ、その制度を使わなければ生活できない人たちがいることを想像してほしいですし、さらにはライフのような働く場や仲間たちのサポートが受けられるような仕組みがあちこちになれば、真の健康で文化的な最低限度の生活はなりえないと感じました。



発行：小学館 定価：552円＋税

～ライフカンパのお願い～



NPO札幌障害者活動支援センターライフでは、設立して25周年を越えたところですが、これまで何か行動を起こす時に目標を設定してカンパのお願いをしてきました。しかし、この2,3年皆様方にライフ運営資金のためのカンパをお願いしてきています。ここ数年続く世界的な不況で仕事量は減っており、ライフの運営が厳しくなっていることも事実です。そこで、大変恐縮ですが、ライフの運動に共感する皆様方からの応援を是非ともお願いしたいと思います。

◆ 振り込み先

- 北洋銀行 加入者名 琴似中央支店 普通預金 4606735
特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ
理事長 我妻 武
- 札幌信用金庫 加入者名 琴似支店 普通預金 3296744
特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ
理事長 我妻 武
- ゆうちょ銀行 加入者名 振替口座 02710-4-63485
NPO札幌・障害者活動支援センターライフ

編集後記

今年の雪解けは異常なほど早い。札幌の中心部では車イスでも楽に歩けるくらいになっている。嬉しいのだが、現実的な問題では除雪作業を仕事にされている方は商売が上がったりで困っているようだ。そんな中で迎えた3月11日。あれから4年経った。しかし、私たちは被災地のことを忘れることなく、自分たちのできることで復興に引き続き協力していこう。一昨年に偶然出会った福島県浪江からいらしてのご家族はお元気だろうか。政治に翻弄され、震災に翻弄され、さらにご家族の入院で、とてもお疲れの様子だった。被災地は、まだまだ復興にはほど遠い現状だ。他人事なく、改めて自分のこととして考えたい。(タケ)

アドボケイト 3月号 (第172号)

2015年3月10日発行 (毎月10日発行) HSK通巻第516号
 1973年1月13日第3種郵便物認可
 発行人/北海道障害者団体定期刊行物協会(HSK)
 編集人/NPO法人札幌障害者活動支援センターライフ
 理事長 我妻 武
 〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションモモ1F
 TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323
 E-mail honbu@npolife.net
 ホームページ http://npolife.net/
 郵便振替口座 02710-4-63485
 定価 100円